第１回きずなづくりトーク（北小学校区）　概要記録

平成24年7月12日
北小学校

発言者	発言要旨
テーマ　みんなでふれあい創出	
自治会長	小さい町内でも特徴のある地域とない地域がある。面倒見の良い女性がいると、隣近所仲良くしてお年寄りの状況を確認している地域になる。一部の地区では、高齢者が集まって行う飲み会があって交流を持っているが、町内全体ではない。井戸端会議などを通じて近所の住民についての情報交換ができると良い。
自治会長	「あいさつのこだま運動」と名付けて活動を行っている。「おはよう」の次の一言がほしい。昔から住んでいる人は町内の一斉清掃などに参加してくれるので交流が多い。新しく引っ越してきた人、特にマンションに住む人とは交流があまりない。個人情報保護の関係で、災害時の連絡の取り方が難しい。今年は、町内の居住者の名前と年齢についてまとめている。
自治会役員	中央町２区で伝統的に行っている行事は運動会と防災訓練。今年は勉強会を行ってから防災訓練を行う予定。運動会は町内だけで行っているので、皆参加してくれる。運動会が終わった後バーベキューを行って親睦を深めている。
自治会長	特別な活動は行っていないが、一般的な取り組みを充実させていきたい。問題点が２つある。１つは、町内の５３５世帯中２００世帯が東小学校区、残りが北小学校区なので、子ども会が２つあって中途半端。もう１つは、町内の５０％以上が借家世帯。借家の人は町内活動への参加率がかなり悪いが、町内会費だけは大体の世帯に何とか納めてもらっている。
自治会長	加茂川町２区は昔の世帯が多い。行事に参加するのは特定の人だけ。高齢者が増えており、防災などについてどうしていくかが課題。
自治会長	今年から町内会長をやっているが、災害対策は大事だと考えている。毎年９月に野外で防災訓練を行っているが、今年６月に初めて図上訓練を行った。訓練後に懇親会を行い、新しく町内に引っ越して来た世帯を皆に紹介した。イベント活動を通じて顔を知ってもらえたので、子ども達があいさつをしてくれるようになった。
自治会長	文教町２丁目は東レの社宅なので、５５歳以下の若い世代しかいない。子どももたくさんいる。初めて会った人におかえりなさいと言ってもらえるような生活環境。他の町内にもそういう関係性を作ってもらいたい。
自治会長	居住者は国家公務員と独立行政法人の職員。隣近所については職業以外の情報はまったくわからない。連絡を取るのが難しく、回覧が回っているかさえわからない。職業柄、住民の勤務地はバラバラなので、災害時に集合できるか、防災組織が機能するかはわからない。
自治会長	シャルマンコーポは１２階立てのアパート。入居から１５年経つが、顔が知れている人は１割いるかどうか。住民同士の交流を深めようと活動している。今年はスカイツリー見学のバス旅行を計画している。町内会から同好会、趣味の会への補助を出している。今年の防災訓練は弁当、菓子を配布し、はしご車を使った給水訓練を行うなどして人を集める工夫をしている。
自治会長	防災をメインとしている自治会。親睦会と防災訓練が主な行事。去年は北中学校の避難路を皆で歩いた。今年はＡＥＤの使い方の勉強会を行う予定。
自治会役員	防災訓練に力を入れているが、住民同士が顔を知らないことが大きな問題になっている。今年は、災害時の担当者で集まり、対応について協議を行う。

発言者	発言要旨
自治会長	４月から町内会長をやっている。自主防災名簿を作ることに取り組んでいる。個人情報の問題があり、任意での調査なので拒否されてしまうこともある。
自治会長	幸町は高齢化が非常に進んでいる。５０世帯あるが子どもがほとんどいなく、子ども会も解散してしまった。老人会はゲートボールなどを行っていて活発。４月から世帯名簿を作成するが、在籍になっていてももういない人がいるので、再調査して正確な名簿を作りたい。
自治会長	大宮町１丁目も高齢化が進んでいる。老人の数は多いが、役員をやってくれる人がいないので老人会がない。子ども会もない。１Ｒマンションが増えたが、住民は自治会に参加してくれない。今年から、普段の防災訓練に加えて、炊き出し訓練を行いたいが、つながりが希薄なので、まずバーベキューを行って親睦を深めたい。路地の奥に高齢者が住んでいるので、敬老祝い金の配布に防災担当者も加わってもらい、居住状況について把握してもらいたい。
自治会長	春に行う一斉清掃、夏に行うフェスタ、防災訓練に大勢が参加してもらうことを自治会長としてのテーマにしている。一斉清掃には約４００名が参加してくれた。これから行うフェスタでは、皆が顔見知りになることをテーマにして和気あいあいとやりたい。子どもは地域の宝事業は順天堂大学の校舎と校庭を借りて盛大に行った。市と県の補助金を得て、集会所の建設に取り組むことができたので、来年からさらにふれあう機会を増やしたい。防災訓練の時、安否確認のため黄色いハンカチを表のドアノブや手すりにつけることを指示している。
自治会長	自治会長は２年目になるが、他の町内の話を聞いていると壱町田２丁目は大丈夫かと心配になる。お年寄りが多く、１Ｒの借家が多いので、つながりがあるのは昔から住んでいる人だけ。借家の方や学生にも町内の行事に参加してほしい。大場川が氾濫して避難したことがあるが、家に残りたいという高齢者がいた。地震のときにそういう人をどうやって避難させるかが問題。自治会に入っていない高齢者もいる。個人情報問題がありすべての世帯を把握できないので、近所間で情報を共有することで対応するしかない。
民生委員	一人暮らしの高齢者世帯についての情報を自治会に教えた。自治会には災害時の安否確認を責任をもって行ってほしい。また、高齢者世帯の家具に転倒防止器具がついているか確認調査を行った。孤独死が起きたら、非難されるのは民生委員なので、郵便物を確認するなどの見守りを徹底していきたい。
幼稚園ＰＴＡ	神戸から転勤してきたが、三島市は地域の方が子どもに本当によく声をかけてくれる。北幼稚園は母親のサークル活動が盛んで、親睦会もあるのでつながりが強い。幼稚園内だけでなく、外とのつながりをどう作っていくかが課題。幼稚園と老人ホーム、企業などとの交流を作っていきたい。北幼稚園前のいちょう並木の清掃をＰＴＡで行っているが、地域の方も混ぜてできたら良いと思う。
小学校長	北小学校では、ＰＴＡ主催で防災体験学習を行った。地域の方にも参加していただき、感謝している。市の指定を受けて、今年と来年、防災教育を行っていく。今年の内容は、スモーク体験、防災食の試食、ＡＥＤ講習など。
体育振興会	少子化が進行していることに加え、多くの子どもがクラブ活動をしているので運動会に参加してもらえない。一昨年から参加者は４００名ほど減って、現在は３０００名程度が参加している。高齢化が進んでいるので、誰でも参加できる種目を考えていきたい。
自治会役員	市民運動会に参加したが、若い方と年配の方の差が出てしまっていると感じるので、維持するのは大変ではないか。加茂川町２区は小さい町内なので団結力はあるが、高齢化が深刻なので、声かけなどの市から指示される役割が果たせていない。
自治会役員	マンションは震災時は非常に危険なので、逃げる場所をどうするか考えている。

発言者	発言要旨
自治会長	借家の人については、大家に依頼して町内会費を納めてもらっている。町内行事には１Ｒマンションの住民は参加してくれないが、ＪＲ社宅の住民の参加率は高い。
保健委員	芝本町２丁目は総会でお寺に全員集まるので、だいたい顔見知り。今日の話を聞いて他の町内では大変な苦労があるのだと感じた。保健委員の呼びかけで健康診断を行っている。子ども会がある町内はいろいろなつながりができる。
子ども会長	東壱町田は三島市の中では比較的新しい町内なので、昔からのつながりがあまりない。ふれあいの園という花畑があり、芋ほり大会、バーベキュー大会などを子ども会と近所の高齢者と行っている。運動会に力を入れており、子どもには積極的に参加するよう呼びかけている。今の運動会には、中高生が参加できる競技がないのが残念。
体育振興会	芝本町２丁目は運動会、防災訓練への参加率が高くて助かっている。
商店振興会	住まいは三恵台にある。定年後、知人があまりいなかったが、ある日友人からゴルフの誘いを受けて行ってみたことで１０人ほどと知り合いになり、そこからグループの輪がどんどん広がっていった。女性は社交的だが、男性は引っ込み思案。共通の趣味を持って顔見知りを増やすことが大事。
環境美化推進委員	ミックス古紙の回収率が１０％台で非常に悪い。焼却炉が築３０数年経っており、生ゴミが全体の４９％を占めるので焼却炉に負担がかかる。残飯を出さない食卓の実現を目指してほしい。
自治会長	マナーの悪いゴミについて調べたら、沼津、裾野から投棄されているものが多かった。清掃センターから不法投棄について警告してもらった。
商店振興会	犬の散歩のマナーを守ってもらいたい。